



平成21年11月11日

各位

会社名 クルーズ株式会社  
(コード番号2138:大証ヘラクレス)  
所在地 東京都港区六本木六丁目10番1号  
六本木ヒルズ森タワー  
代表者 代表取締役社長 小渕宏二  
問合せ先 経営管理部長 櫻井英哉  
電話番号 (03) 5786-7080

## 平成22年3月期第2四半期累計期間の業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成22年3月期第2四半期累計期間業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前年同期実績(A) (平成21年3月期 第2四半期累計期間業績)	百万円 2,451	百万円 101	百万円 92	百万円 53	円 銭 1,592 96
今回発表実績(B) (平成22年3月期 第2四半期累計期間業績)	1,929	243	262	△121	△4,440 61
増減額(B-A)	△522	142	170	△175	—
増減率	△21.3%	140.6%	184.0%	—	—

#### 2. 差異の要因につきまして

当第2四半期累計期間におきまして、既存のモバイル事業につきましては、売上高1,929百万円となり、前年同四半期の売上高1,432百万円に比べ、34.7%増と大幅に増加しました。なお、平成21年4月1日に人材事業を担当しておりました子会社の全株式を譲渡し、モバイル事業セグメントのみとなったことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期比21.3%減となっております。

利益面につきましては、事業の選択と集中を実施し、人材事業の売却および他社の広告枠を仕入れて販売する、薄利多売モデルの広告代理サービスの再編・縮小を行い、「CROOZブログ」等の高収益な自社媒体の広告販売、及び自社課金コンテンツの収益拡大に集中しました。同時に、資本効率の最大化、売上高の最大化、営業利益の最大化を目的としたコンテンツの育成・撤退ルール「4Cプログラム」を開始し、資本効率が高く成長性の高い主力コンテンツ「C1」に焦点を絞り込んだことにより、利益率が大幅に向上しました。その結果、営業利益243百万円(前年同四半期比140.6%増)、経常利益262百万円(前年同四半期比184.0%増)と大幅に増加しました。

一方、「4Cプログラム」に則り、当社が期待する成長性・収益性に達しないコンテンツ「C2」は追加投資を停止、利益を確保しながら売上高を維持し、成長性・収益性の低いコンテンツ「C3」については、撤退するとともに、該当するソフトウェア資産の除却及び減損処理を実施しました。さらに、開発生産性向上を目的にコンテンツ運営システムおよび業務処理システムを全面リニューアルしたことに伴い、従来使用していたシステムの除却も併せて実施し、特別損失457,724千円が生じたことにより、四半期純損失は、121百万円となり、前年同四半期に比べ175百万円減少しました。

以上